第2回

実は身近な

精神障害

だれもが居場所と役割のある社会をつくるためのたのしい学びの場♪

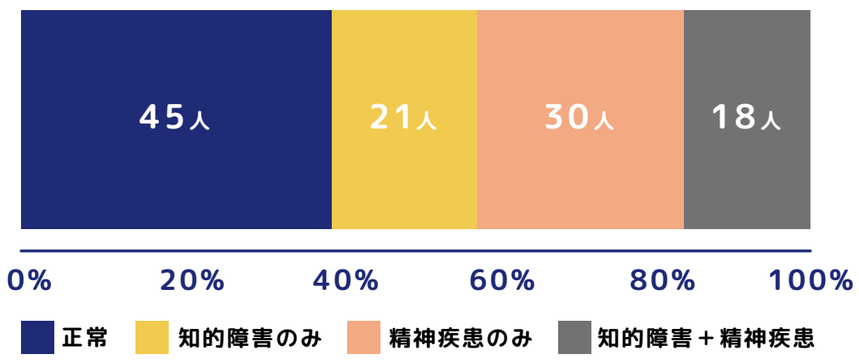
ささしまカレッジ Report 2019

ホームレス状態にある人には、精神障害のある人も少なくありません。
障害がある人もない人もお互いに排除されずともに暮らせる
地域にするために、私たちにはどんなことができるか考えます。

Q1 ささしまサポートセンターのボランティアが精神障害について知っておいたほうがいいのは、なぜでしょうか？

2014年にささしまサポートセンターも協力した岐阜大学の研究チームの調査によると、**ホームレス状態にある人のうち、約43%に精神疾患がある**ことが分かりました。また、知的障害のある人は全体の約20%、知的障害と精神疾患の両方がある人は全体の18%でした。近年、全国的に路上で暮らす人の数は減少していますが、一方では**障害をもつ人が路上に取り残され、支援が行き届かなくなっている**現状があります。

対象者(114人)の知的障害と精神疾患の組み合わせ有病率



01

精神障害とは

脳のはたらきの変化によって、感情や行動などに著しいかたよりが見られる状態のこと。

精神病性障害…幻覚、妄想、まとまりのない会話や行動などが発生し、日常生活やコミュニケーションが困難になる。
気　分　障　害…過度に気分が沈んだり、高揚したりする病気。うつ病、躁病、躁うつ病など。
不　安　障　害…不安によって心身に強い苦痛が生じたり、日常生活に支障が出ている病気。全般性不安障害、パニック障害など。
物質関連障害…薬物やアルコールなどの使用や依存に関連する病気。

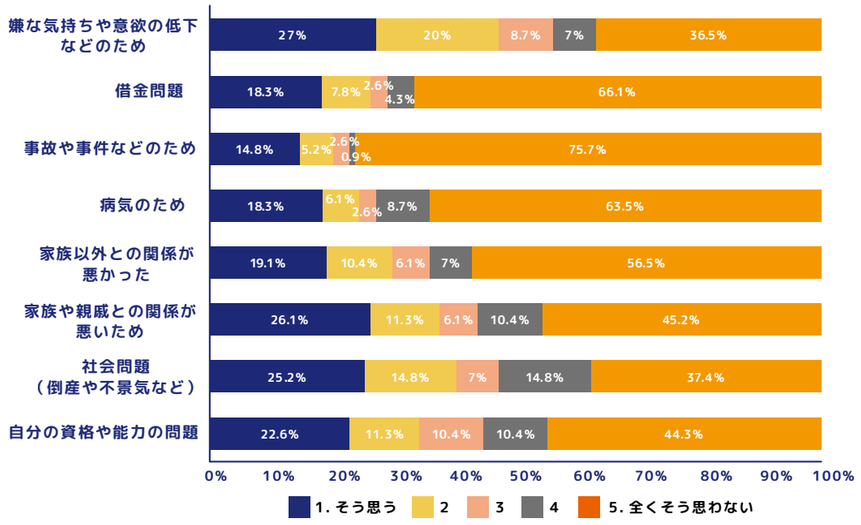
知的障害とは

18歳までの発達期に生じる知的発達の遅れにより、社会生活に適応する能力に制限がある状態のこと。（※本調査では、認知症やうつ病などの影響により、成人以降に知的能力が低下した者も含まれている。）

Q2 なぜ障害があるとホームレス状態におちいりやすいのでしょうか？

人がホームレス状態になる原因は様々です。
特に近年では、単純作業や肉体労働よりも、人とのコミュニケーションや専門的で高度な知識や技術が求められる職場が増えてきました。こうしたことが苦手で、社会から労働力として認められなくなってしまった人が、「障害者」と名付けられ、十分な支援を受けられないまま路上に追いやられている面があります。

なぜ、路上生活に陥ってしまったのか？



02

※このパンフレットは公益財団法人社会福祉弘済会からの助成を受けて、2019年10月6日に開催した「ささしまカレッジ第2回　実は身近な精神障害（講師：西尾彰泰　岐阜大学保健管理センター准教授・精神科医・産業医）」をもとに作成しました。

どうして路上生活に陥ってしまったのか？

		人数		割合（%）		オッズ比		
		そう思う	そう思わない	そう思う	そう思わない	OR	95%CI	p
自分の資格や能力の問題	障害なし	12	31	27.3	70.5	1		
	知的障害のみ	5	18	21.7	78.3	0.718	0.227-2.299	0.769
	精神障害のみ	12	19	38.7	61.3	1.632	0.619-4.306	0.541
	知的＋精神障害	10	8	55.6	44.4	3.229	1.051-9.941	0.077
社会の問題	障害なし	19	24	44.2	55.8	1		
	知的障害のみ	7	16	30.4	69.6	0.553	0.194-1.588	0.304
	精神障害のみ	11	20	35.5	64.5	0.695	0.272-1.779	0.482
	知的＋精神障害	10	8	55.6	44.4	1.579	0.533-4.676	0.575
家族や親戚との関係が悪い	障害なし	13	30	30.2	69.8	1		
	知的障害のみ	11	12	47.8	52.2	2.115	0.756-5.938	0.186
	精神障害のみ	8	23	25.8	74.2	0.803	0.291-2.221	0.796
	知的＋精神障害	11	7	61.1	38.9	3.626	1.17-11.1964	0.043*
家族以外との関係が悪い	障害なし	9	34	20.9	79.1	1		
	知的障害のみ	6	17	26.1	73.9	1.333	0.423-4.243	0.76
	精神障害のみ	12	19	38.7	61.3	2.386	0.866-6.573	0.12
	知的＋精神障害	8	10	44.4	55.6	3.022	0.950-9.682	0.115
病気のため	障害なし	10	33	23.3	76.7	1		
	知的障害のみ	5	18	21.7	78.3	0.917	0.284-2.999	1
	精神障害のみ	6	25	19.4	80.6	0.792	0.263-2.403	0.78
	知的＋精神障害	7	11	38.9	61.1	2.1	0.663-6.703	0.229
事故等のアクシデントのため	障害なし	8	35	18.6	81.4	1		
	知的障害のみ	4	19	17.4	82.6	0.921	0.261-3.303	1
	精神障害のみ	9	22	29.0	71.0	1.79	0.616-5.203	0.402
	知的＋精神障害	3	15	16.7	83.3	0.875	0.222-3.534	1
借金問題	障害なし	16	27	37.2	62.8	1		
	知的障害のみ	3	20	13.0	87.0	0.253	0.070-0.936	0.048*
	精神障害のみ	8	23	25.8	74.2	0.587	0.217-1.598	0.327
	知的＋精神障害	4	14	22.2	77.8	0.482	0.143-1.657	0.372
気持ちや意欲の問題	障害なし	18	25	41.9	58.1	1		
	知的障害のみ	8	15	34.8	65.2	0.741	0.264-2.085	0.609
	精神障害のみ	18	13	58.1	41.9	1.923	0.761-4.858	0.239
	知的＋精神障害	11	7	61.1	38.9	2.183	0.724-6.558	0.261

*p<0.05

調査では「路上生活に陥った原因」として、障害のない人は「借金」、障害のある人は「人間関係」を多く挙げられていました。
障害によって良好な人間関係を築くのが難しく、職場でも家族でもトラブルを起こして居場所を無くしがちなことが考えられます。
障害のある人はこうした背景から雇用に結びつきづらいため、路上生活から抜け出すことが難しくなっています。

病気も原因だけれど、大切なのはその人を見ること

ホームレス状態にある人の抱える困難さの原因に、精神障害や知的障害があることは少なくありません。大切なことは、障害をもつ人の人生に想像力をはたらかせることです。態度がぶっきらぼうなのは、家庭や職場の人間関係で傷ついてきた経験があるのではないか。一生懸命働いても物覚えが悪く、解雇されてしまい気力を無くしているのではないか。路上生活に至るまでに、本人の力ではどうにもならないことで辛い立場に置かれてきたことに思いをはせることが必要です。
ホームレス状態にある人は人と関わることや、困ったことがあっても助けを求めることが苦手な人も多いです。先入観を持たずに一人の人として向き合い、背景に精神疾患があるかも？と感じたら、自分１人で抱え込まずに、先輩ボランティアや、炊き出し相談・巡回相談などに参加しているボランティアの医師や看護師・保健師さんに相談しましょう。

※このパンフレットは公益財団法人社会福祉弘済会からの助成を受けて、2019 年 10 月６日に開催した「ささしまカレッジ第２回　実は身近な精神障害（講師：西尾彰泰　岐阜大学保健管理センター准教授・精神科医・産業医）」をもとに作成しました。